

# 横暖ルーフ

工 法

新築

下 地

耐水合板

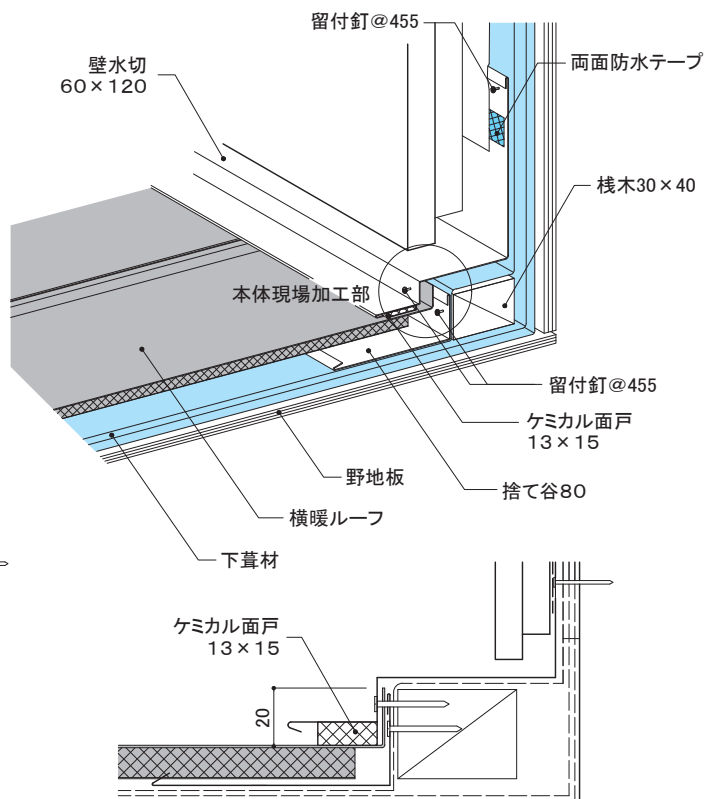
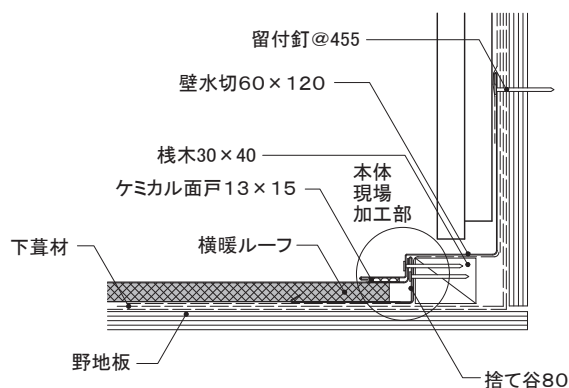
構造

木造

## 8) 下屋根部

## ②流れ側 壁水切60×120+捨て谷80

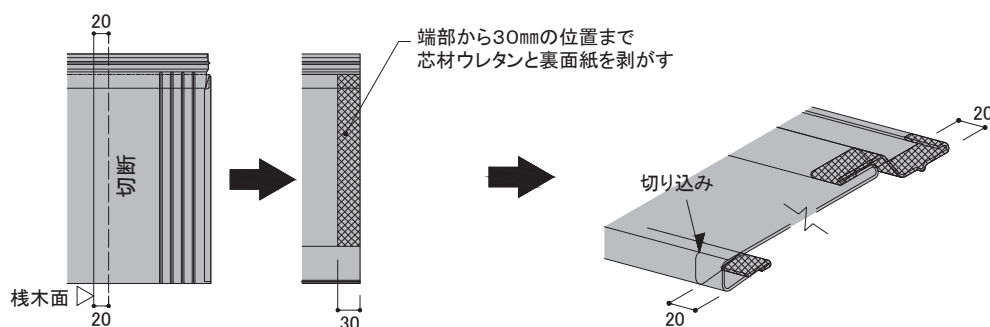
- 野地板上に、下葦材を張ります。
- 栈木30×40を取り付け、栈木を包むように下葦材を増し張りします。
- 捨て谷80は留付釘(ステンレスクリュー釘長さ32mm以上)を、455mm以下の間隔で栈木に留め付け、図のように加工した横暖ルーフ本体を施工します。
- ケミカル面戸13×15を横暖ルーフ本体に図のように貼り付け、壁水切60×120をかぶせるように施工します。図のように留付釘(ステンレスクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、455mm以下の間隔で留め付けます。



部分断面図

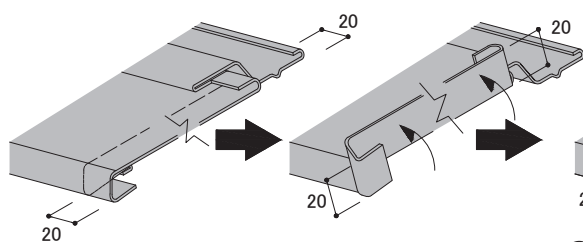
### ■施工ポイント・本体現場加工図

- 横暖ルーフ本体の壁付部分は図のように加工します。



①栈木面から図の寸法で切断します。

②網掛け部分を切り落とします。



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。

④Rの部分をつぶします。

次の横暖ルーフ本体の取り付け前にシーリングを充填する

本体取り付け後、シーリングを充填する

⑤接合部からの雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。